

第 76 回

パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

2019 年 4 月

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000 年 6 月より四半期毎に実施しているアンケート調査。(株)エンタテインメントビジネス総合研究所と(株)シーズによる共同調査である。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI 値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI 値は+100 から-100 の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の 4 団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有カパチンコ店経営企業

◇実施時期：

2019 年 3 月 14 日～2019 年 3 月 26 日

◇調査方法：

調査票をFAXおよび WEB アンケートにて送付・回収

https://www.eb-i.jp/description_of_business/di/

<http://www.sees.co.jp/>

◇回答状況：

73 企業、106 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所



パチンコ業界のマーケティング
株式会社シーズ

主要指標数値(DI値)結果

■全般的業況は大幅に回復、3カ月後は悪化する見通し






















「全般的業況」は▲2.9ポイント(前回比41.8良化)まで大幅に回復したが、3カ月後は▲13.5ポイントまで悪化する見通しである。

「稼働状況」は、パチンコ▲13.3ポイント(前回比33.8良化)、パチスロ▲0.9ポイント(前回比25.0良化)となった。3カ月後の稼働状況の見通しは、パチンコ▲21.0ポイント、パチスロ▲12.3ポイントとなっている。






「資本投資気運(遊技機)」は▲12.2ポイント(前回比8.9悪化)、3カ月後は▲5.4ポイントまで良化する見通しである。「資本投資気運(その他設備)」は▲4.1ポイント(前回比10.9良化)、3カ月後は▲4.1ポイントと現状維持の見通しである。

「不足感(雇用人員)」は、前回の▲37.6ポイントから▲61.3ポイントまで悪化、3カ月後は▲58.5ポイントと概ね横ばいで推移する見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

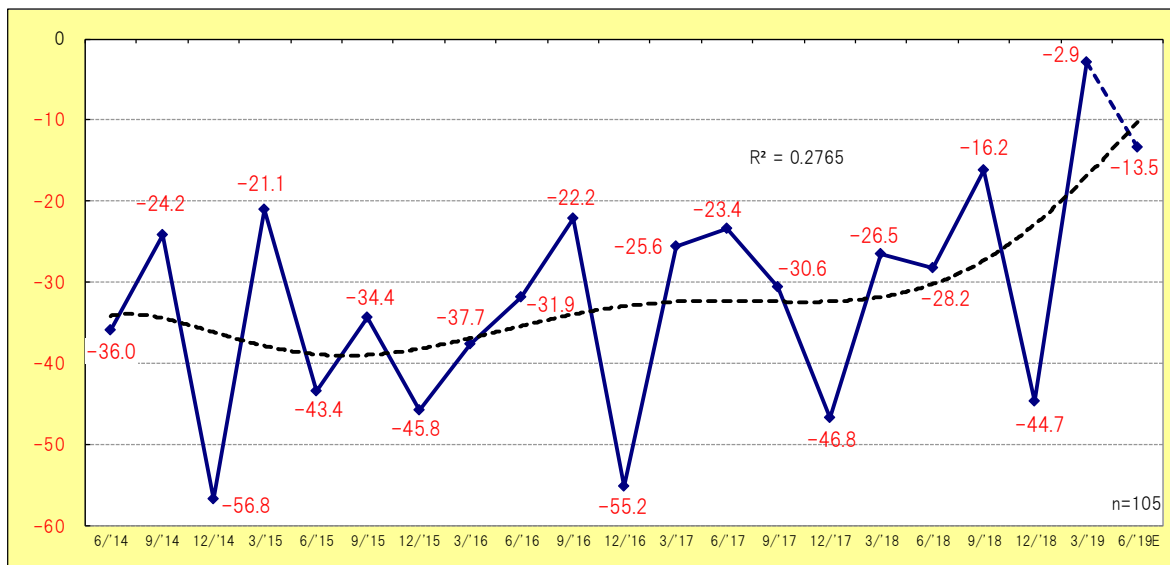
項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	 -44.7	 -2.9	 -13.5	現状は曇りに良化 見通しは雨に悪化
2. 稼働状況 (パチンコ)	 -47.1	 -13.3	 -21.0	現状は雨に良化 見通しは引き続き雨
3. 稼働状況 (パチスロ)	 -25.9	 -0.9	 -12.3	現状は曇りに良化 見通しは雨に悪化
4. 資本投資気運 (遊技機)	 -3.3	 -12.2	 -5.4	現状は雨に悪化 見通しは曇りに良化
5. 資本投資気運 (その他設備)	 -15.0	 -4.1	 -4.1	現状は曇りに良化 見通しも引き続き曇り
6. 不足感 (営業用設備)	 -10.6	 -9.4	 -9.4	現状は曇りに良化 見通しも引き続き曇り
7. 不足感 (雇用人員)	 -37.6	 -61.3	 -58.5	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨

凡例: 天気記号の基準DI値

記号					
DI値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体) 注:2019年6月期(6/'19E)の数値は見通し

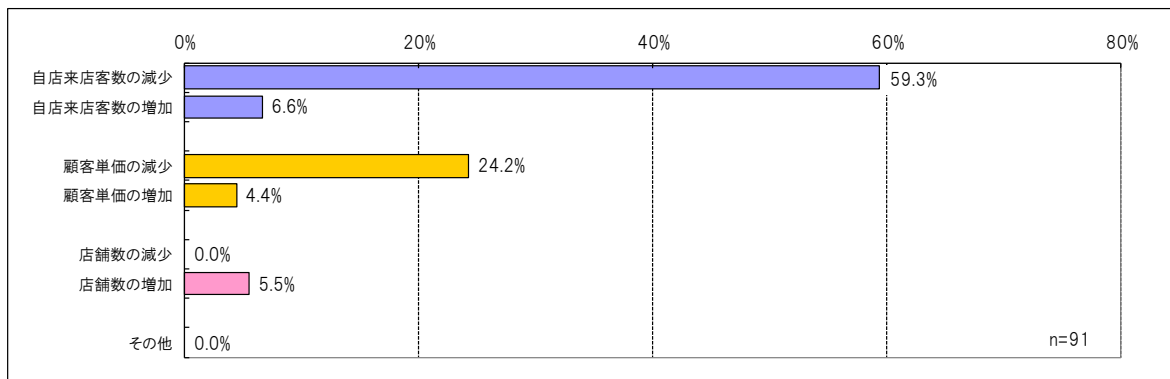
■全般的業況:全般的業況は大幅に回復、3カ月後は悪化の見通し



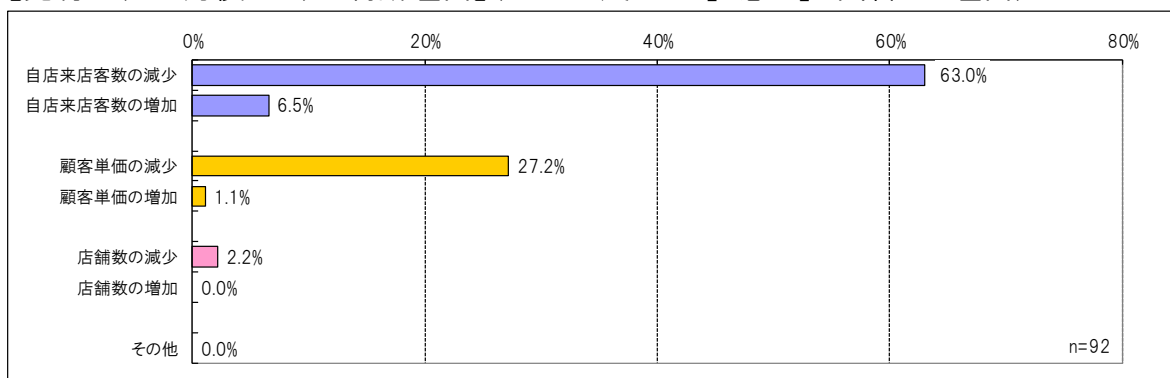
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲2.9ポイント(前回比41.8良化)まで大幅に回復した。例年3月期は業況が回復傾向にあるが、今回は年末年始の休日が例年よりも長かったことや3月に導入された6号機の高稼働が影響として考えられる。3カ月後は▲13.5ポイントまで悪化する見通しである。

■全般的業況の悪化理由:現況と先行きで「来店客数の減少」がトップ

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)

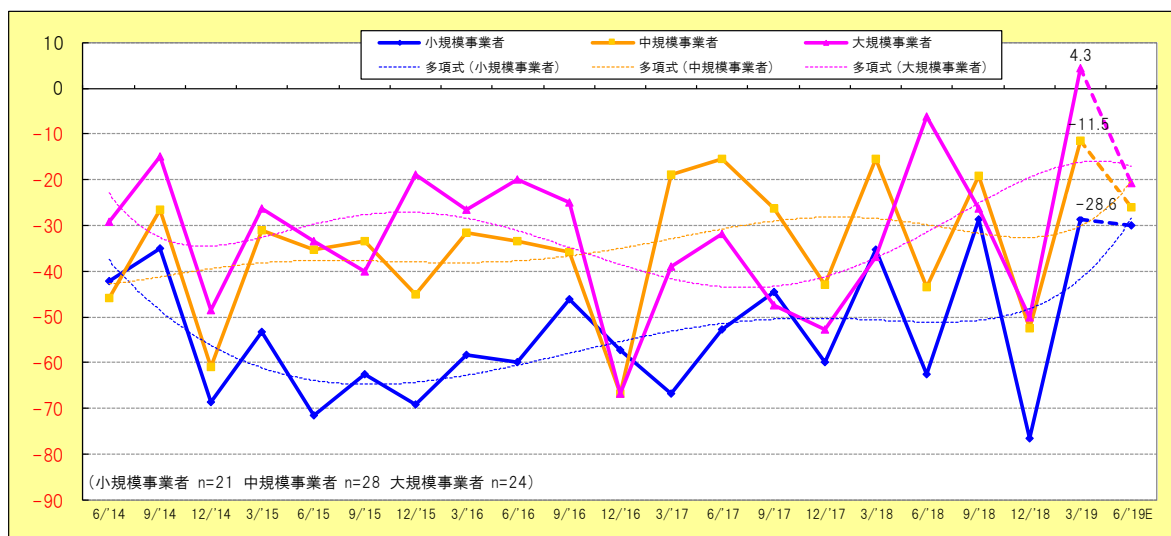


【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



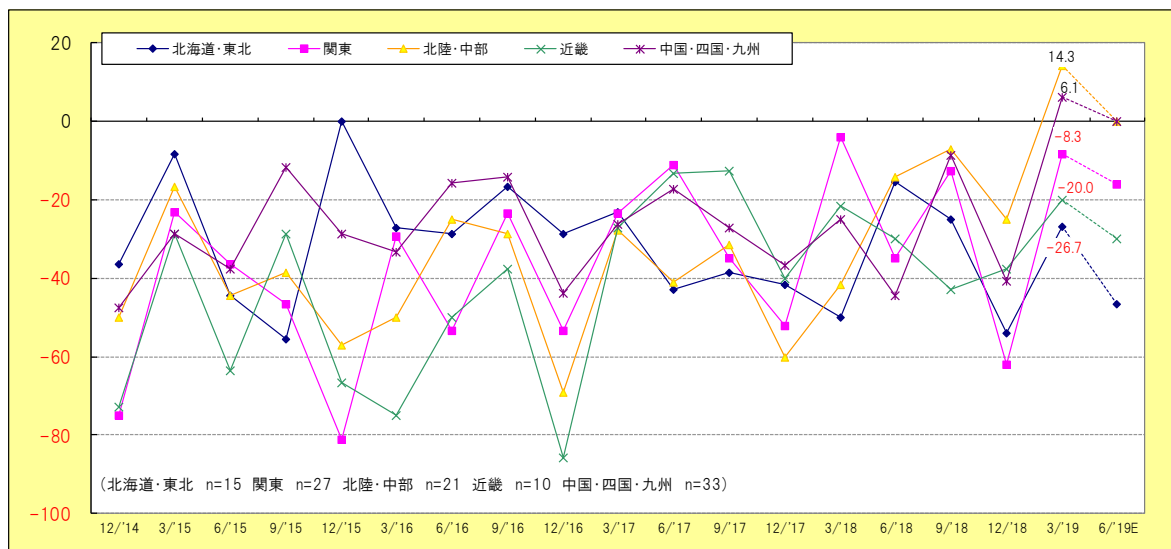
全般的業況(規模別・地域別) 注: 2019年6月期(6/19E)の数値は見通し

■全般的業況(規模別): 全事業者で大幅回復、大規模はプラスに転じる



事業規模別の「全般的業況」では、小規模事業者(1~3店舗)が▲28.6ポイント(前回比47.9良化)、中規模事業者(4~10店舗)が▲11.5ポイント(前回比30.7良化)、大規模事業者(11店舗以上)が4.3ポイント(前回比45.7良化)となり、全事業者で業況に改善が見られた。なかでも大規模事業者はプラスに転じる結果となった。一方、3カ月後は大規模と中規模事業者で悪化する見通しである。

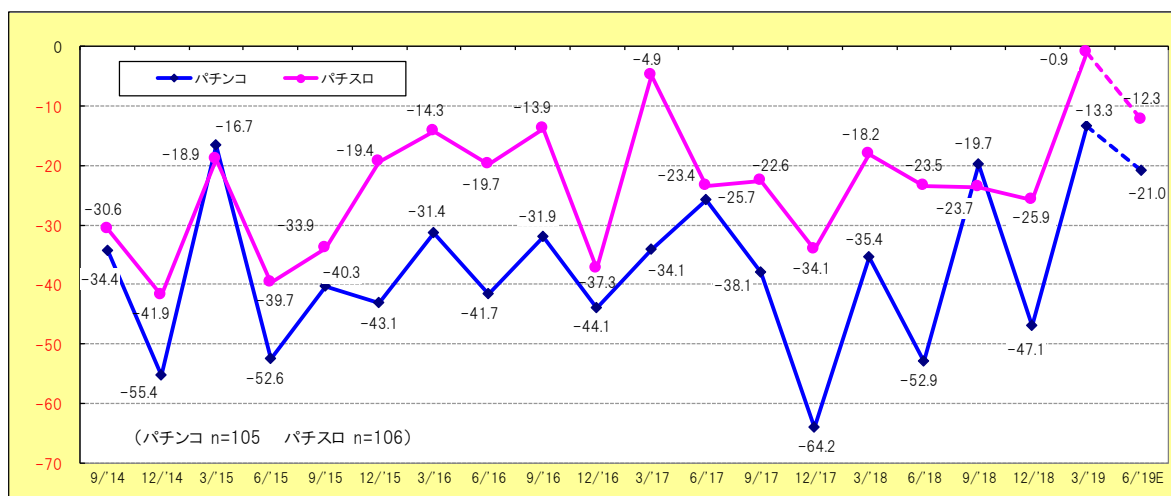
■全般的業況(地域別): 北陸・中部、中国・四国・九州はプラスに転じる



地域別の「全般的業況」は全地域で大幅に回復が見られた。最も業況が良かった地域は北陸・中部で14.3ポイント(前回比39.3良化)となった。以下、中国・四国・九州で6.1ポイント(前回比46.8良化)、関東で▲8.3ポイント(前回比53.6良化)、近畿で▲20.0ポイント(前回比17.5良化)、北海道・東北で▲26.7ポイント(前回比27.2良化)となり、北陸・中部と中国・四国・九州はプラスに転じた。3カ月後は全地域で悪化する見通しとなっている。

稼働状況(事業者全体) 注:2019年6月期(6/19E)の数値は見通し

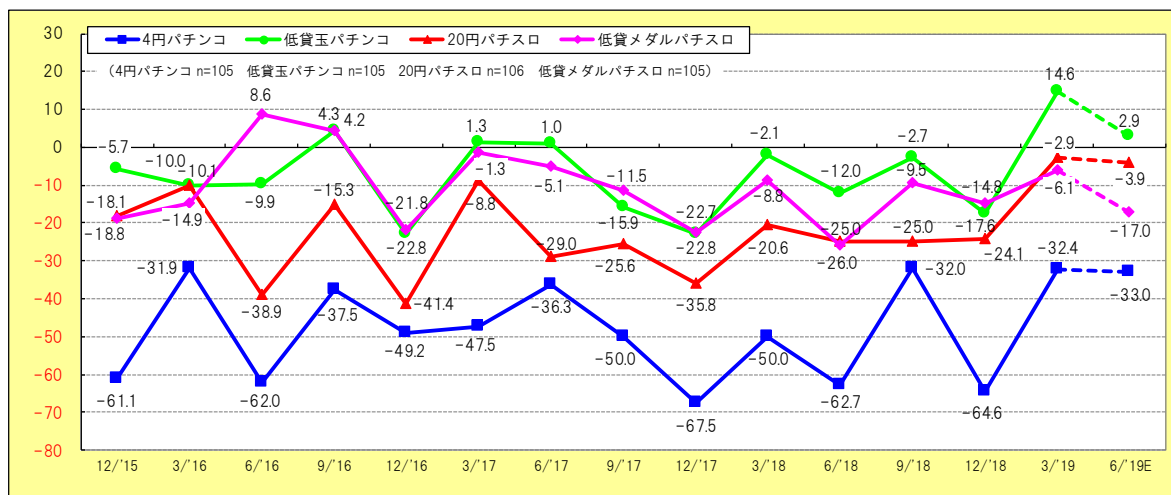
■ 稼働状況(パチンコ・パチスロ別):パチンコ・パチスロ共に大幅回復



稼働状況はパチンコ・パチスロ共に大幅な回復が見られた。パチンコ稼働状況は▲13.3ポイント(前回比33.8良化)まで大幅に回復した。3カ月後は▲21.0ポイントまで悪化する見通しである。

パチスロ稼働状況は▲0.9ポイント(前回比25.0良化)まで大幅に回復した。3カ月後は▲12.3ポイントまで悪化する見通しである。

■ 稼働状況(遊技料金別):すべての遊技料金で回復



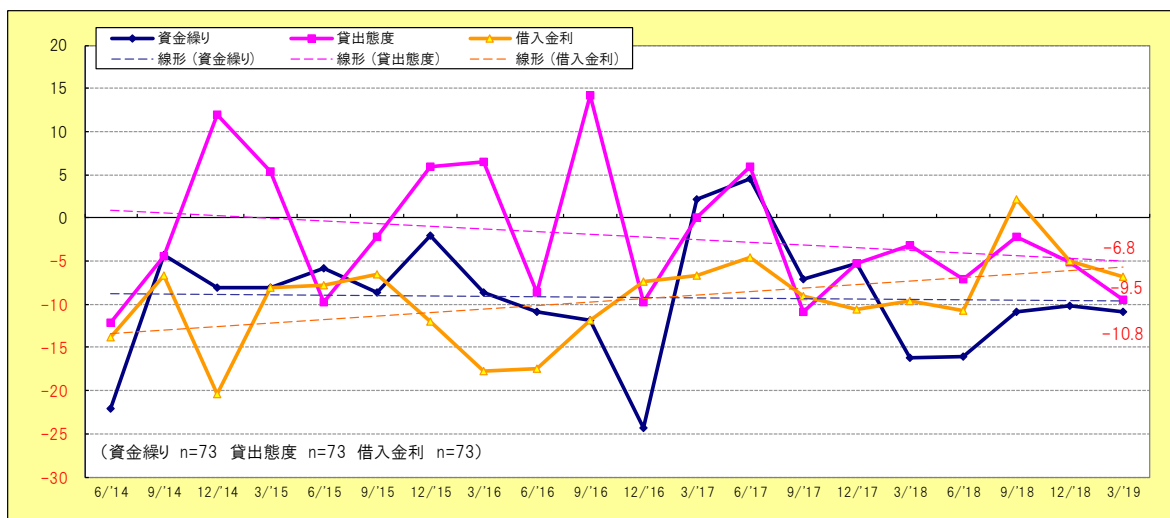
遊技料金別の稼働状況は、すべての遊技料金で回復が見られた。

通常貸し遊技料金において、4円パチンコの稼働状況は▲32.4ポイント(前回比32.2良化)まで大幅に回復、3カ月後は▲33.0ポイントと概ね横ばいで推移する見通しである。20円パチスロは▲2.9ポイント(前回比21.2良化)と大幅に回復し、3カ月後は▲3.9ポイントと概ね現状維持となる見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは14.6ポイント(前回比32.2良化)、低貸メダルパチスロは▲6.1ポイント(前回比8.7良化)となった。3カ月後の見通しについて、低貸玉パチンコは2.9ポイント、低貸メダルパチスロは▲17.0ポイントとなる見通しである。

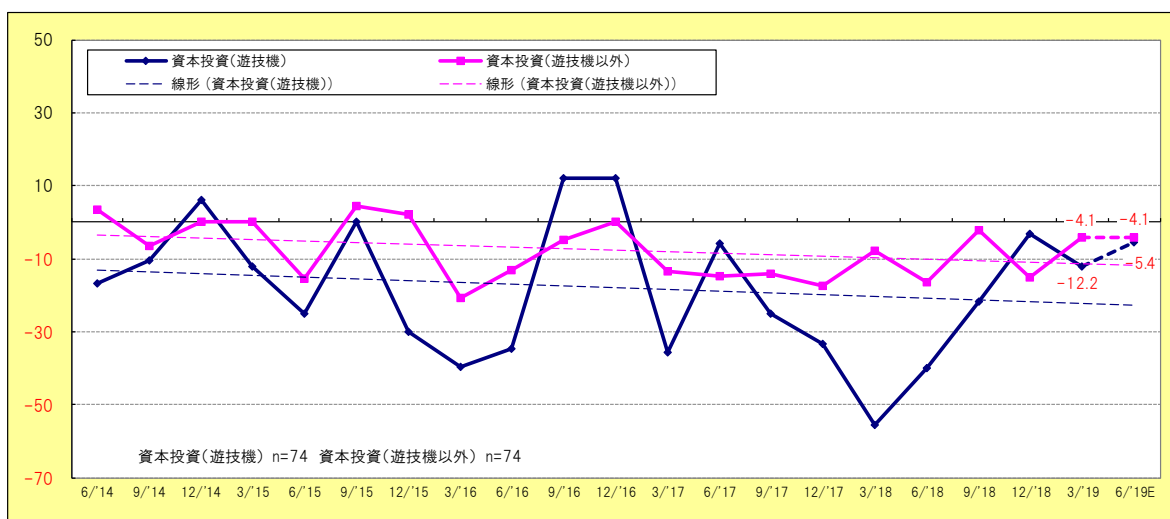
経営の現状(事業者全体) 注: 2019年6月期(6/19E)の数値は見通し

■ 企業金融: 借入金利はマイナスに転じる



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲10.8ポイント(前回比 0.6 悪化)、「貸出態度」▲9.5ポイント(前回比 4.5 悪化)、「借入金利」▲6.8ポイント(前回比 1.8 悪化)となった。

■ 資本投資気運: 遊技機は悪化も、遊技機以外は回復

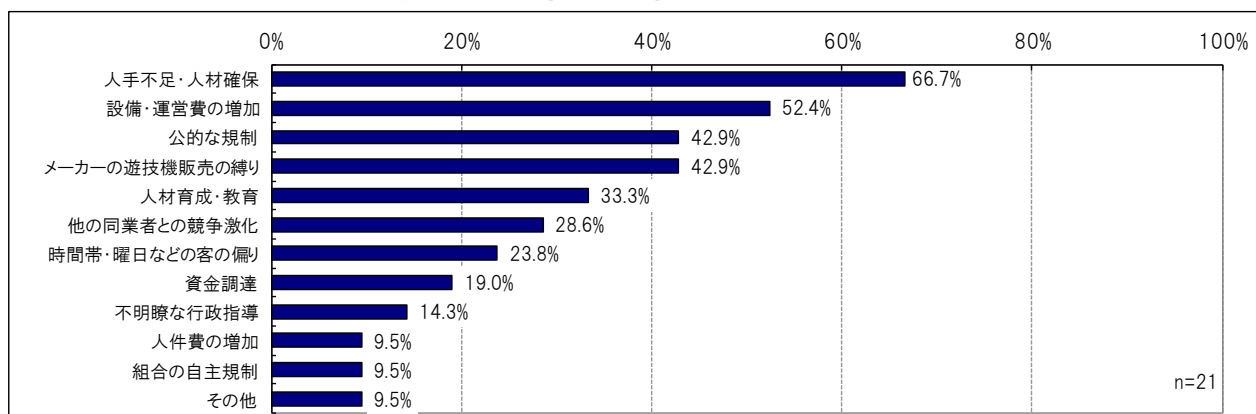


今回の「資本投資気運(遊技機)」は▲12.2ポイント(前回比 8.9 悪化)となり、悪化した。3カ月後には▲5.4ポイントまで回復する見通しである。

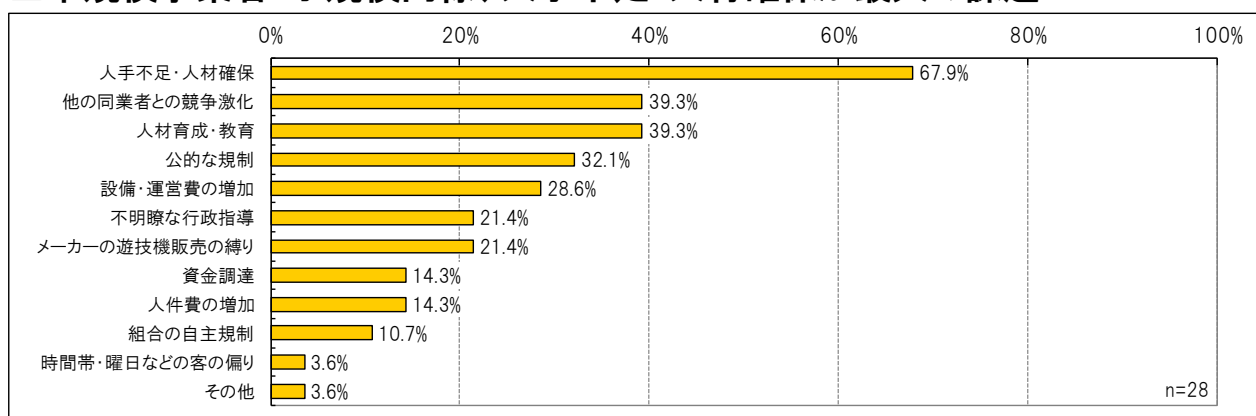
一方、「資本投資気運(遊技機以外の設備)」は▲4.1ポイント(前回比 10.9 良化)まで回復した。3カ月後は▲4.1ポイントとなり、現状維持の見通しである。

経営上の課題(事業者規模別) 注:複数回答

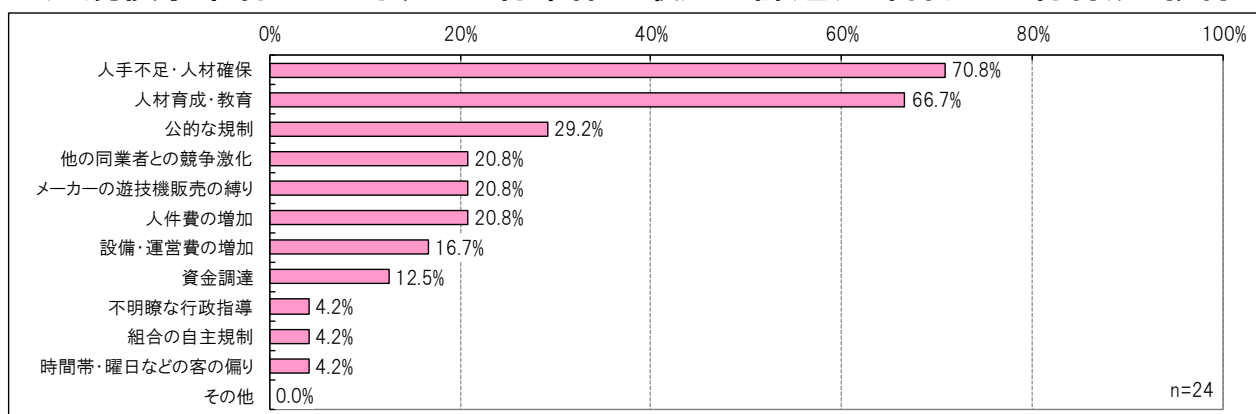
■小規模事業者:人手不足・人材確保が最大の課題で6割台後半



■中規模事業者:小規模同様、人手不足・人材確保が最大の課題



■大規模事業者:人手不足・人材確保が最大の課題、2番目に人材育成・教育



「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、全ての規模の事業者で「人手不足・人材確保」が最大の課題となっている。

小規模事業者(1~3 店舗)では「人手不足・人材確保」が 66.7%で最も高い。続いて「設備・運営費の増加」(52.4%)が高くなっている。

中規模事業者(4~10 店舗)も小規模事業者と同様に「人手不足・人材確保」が 67.9%と最も高く、続いて「他の同業者との競争激化」と「人材育成・教育」が同率で 39.3%となっている。

大規模事業者(11 店舗以上)においても「人手不足・人材確保」が 70.8%と最も高い。2 番目に「人材育成・教育」(66.7%)が高くなっている。

トレンド・ウォッチ「入替自粛と消費税増税」について

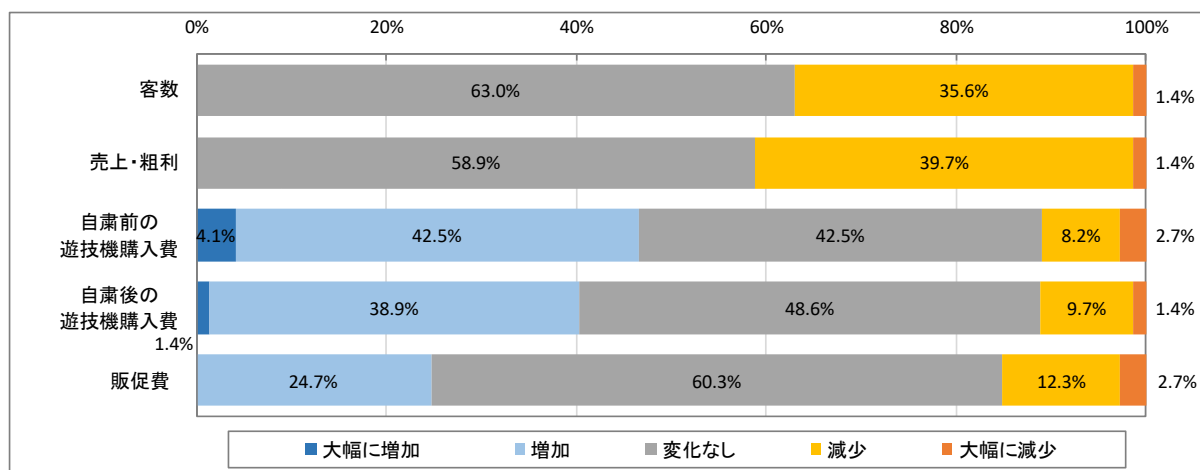
■入替自粛の影響:「客数」、「売上・粗利」は「変化なし」が半数以上

G20 大阪サミット開催(6/28~6/29)に伴う入替自粛があった場合、期間中の営業の影響について質問した結果である。

「客数」では「変化なし」が 63.0%、「売上・粗利」で「変化なし」が 58.9%となり、半数以上が変化なしという結果になった。「客数」「売上・粗利」ともに 2 番目に高かったのが「減少」で、「客数」が 35.6%、「売上・粗利」が 39.7%となり、マイナスの影響があると考えている事業者が一定数いることがうかがえる。

「自粛前の遊技機購入費」は「増加」と「変化なし」が同率でそれぞれ 42.5%と拮抗している。「自粛後の遊技機購入費」は「変化なし」(48.6%)が 5 割近くと最も高く、2 番目に高いのが「増加」(38.9%)で 4 割弱となった。

「販促費」は「変化なし」(60.3%)が約 6 割でもっと高く、2 番目に高いのが「増加」(24.7%)となった。

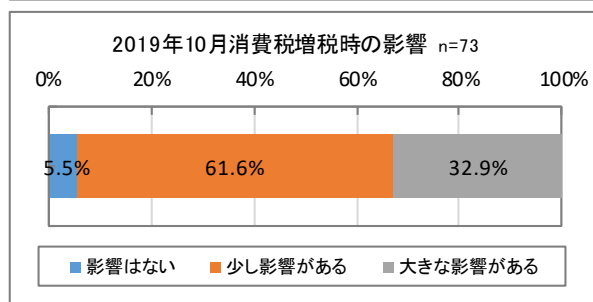
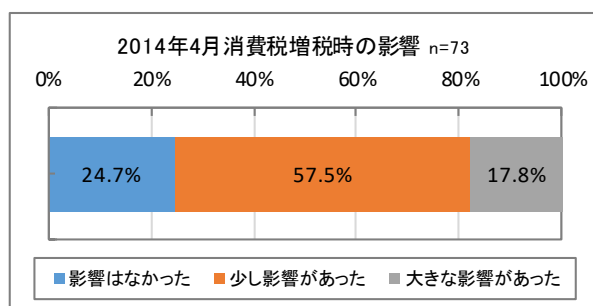


■消費税増税の影響:今年の増税実施は「影響がある」が9割以上

右図は 2014 年 4 月に消費税が増税された際の影響と 2019 年 10 月に消費税が増税された場合に予想される影響について質問した結果である。

2014 年 4 月の増税時には「少し影響があった」(57.5%)が 5 割台後半で最も高くなっている。続いて「影響はなかった」(24.7%)、「大きな影響があった」(17.8%)の順で高い。

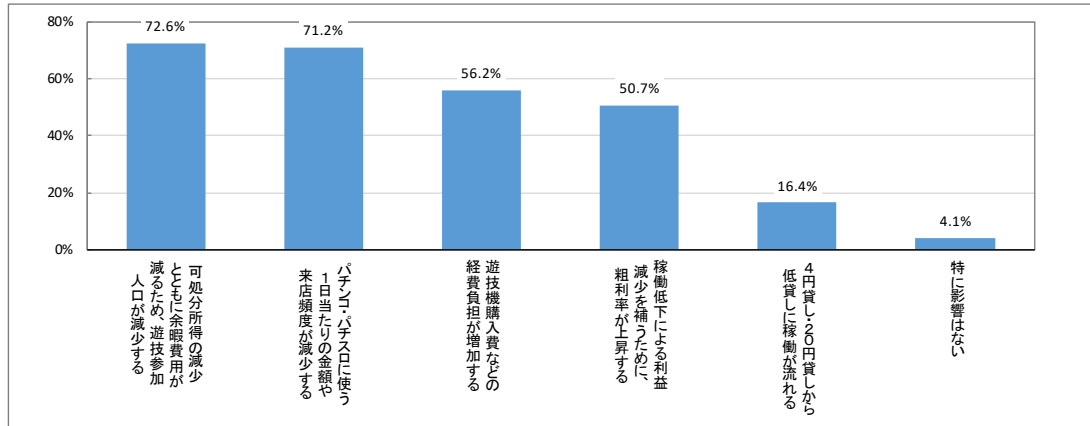
2019 年 10 月に増税がされた場合の影響について「少し影響がある」(61.6%)と考えている割合が最も高く、「大きな影響がある」(32.9%)と合わせると 9 割以上が影響をあると考えている。2014 年と比べると 2019 年の消費税増税は「大きな影響がある」と考えている割合が高くなっている。



■増税時の負の影響:「参加人口」と「使用金額や頻度」の減少が7割以上

下図は、消費税が増税された際の業界に与える負の影響で危惧することについて質問した結果である。

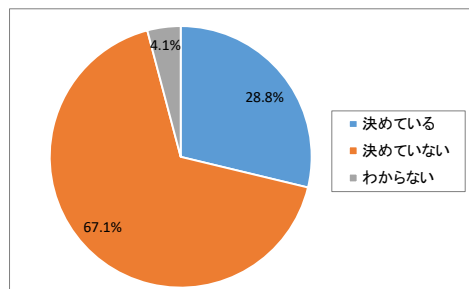
「可処分所得の減少とともに余暇費用が減るため、遊技参加人口が減少する」(72.6%)と「パチンコ・パチスロに使う1日当たりの金額や来店頻度が減少する」(71.2%)が7割以上となっている。遊技参加人口や使用金額、頻度の減少に対する懸念が大きいことがうかがえる。



■増税時の徴収方式:「決めていない」が6割以上で最も高い

右図は消費税の税率が10%に引き上げられた際の徴収方式について質問した結果である。

「決めていない」(67.1%)が最も高く、2番目に高かったのが「決めている」(28.8%)となっており、まだ決めていない事業者が大半となっている。

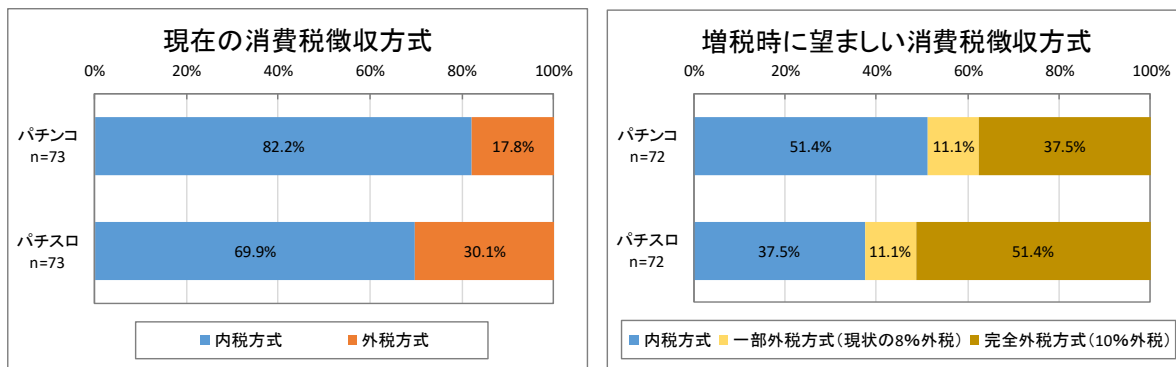


■徴収方式:増税時にパチンコ「内税」、パチスロ「完全外税」が5割以上

下図は、「現在の消費税徴収方式」と「増税時に望ましい消費税徴収方式」について質問した結果である。

「現在の消費税の徴収方式」ではパチンコ、パチスロ共に「内税方式」がどちらも最も高かった。

「増税時に望ましいと考える消費税徴収方式」では、パチンコは「内税方式」(51.4%)が最も高く、2番目に「完全外税方式(10%外税)」(37.5%)が高かった。一方でパチスロは「完全外税方式(10%外税)」(51.4%)が最も高く、2番目に「内税方式」(37.5%)が高くなった。



コメント(自由回答)抜粋

■「入替自粛と消費税増税」および、現状・先行きに対するご意見

「入替自粛と消費税増税」に関するコメント

- ◆これまでであれば入替自粛は競争を睨んで入替をしなくても良い分、パチンコ営業には良かった側面もあるが、旧基準機の撤去を考えると、その時期が前後するだけで終わり、メリットは全然なさそうだ。(中国・中規模事業者)
- ◆入替自粛は周囲の店舗がすべて同じ条件であれば問題はない。しかし、新基準機の販売数が少ないなかでの自粛が必要かは疑問だ。2021年1月までの旧基準機撤去に向けて、遊技機の供給が間に合わないほうが問題だと思う。新基準機がこの先2年間使えるとは考えにくいなかで、年間でパチンコ200万台、スロット100万台の販売がメーカーに出来るのか。昨今の状況を考えてと部品調達ができるとも思えない。(関東・大規模事業者)
- ◆入替自粛は全国統一で行ってほしい。消費税増税時の対応は先に行ったほうが有利だと思う。(関東・中規模事業者)
- ◆入替自粛は特に問題はない。消費税増税は2014年時と同じく、景気後退を生み出す要素を多く含んでいる。非常に危険だと感じているが、それに合わせて対応するしかない。(九州・中規模事業者)
- ◆入替自粛は組合側ではなく、県警もしくは所轄の要請で初めてやるべきだ。消費税増税がまた延期になる可能性もあるが、選挙の道具として結論を引っ張るべきではない。(中国・大規模事業者)
- ◆自粛決定が組合からまだ出ていない。消費税増税は利益率上昇という形で遊技客の負担増になると感じる。(中部・大規模事業者)
- ◆増税時の内税・外税対応について早めに組合の方針を決めてほしい。(東北・小規模事業者)
- ◆パチンコを内税・パチスロを外税で営業している店舗は、一物一価にならないようなものなので、日遊協が示していたガイドラインが有効なのか曖昧な為、明確にしてほしいと感じている。パチスロの外税はある程度顧客に支持されるが、パチンコの外税は客単価が上昇し、稼働低下に繋がることは避けて通れないと考えている。(東北・大規模事業者)
- ◆増税時に交換枚数を変える場合、貯玉・貯メダルが引き出されるので現金が出て行く。また、貯玉・貯メダルがなくなると、店舗移動のタイミングにもなる。そのことを頭に入れて、慎重に変更時期を見極めたい。(関東・小規模事業者)
- ◆新基準機移行期間での消費税増税は頭が痛い。遊技機購入費の負担も増加する。入替自粛はパチスロ新基準機で保通協適合の遅れが出ると考えているので、影響が少ないのではないかと。(中部・小規模事業者)

現状・先行きに関するコメント

- ◆パチンコ店もメーカーも売上増加は見込めない状況なので、収益性を上げる為に、遊技機の販売価格の上げ方も工夫が必要だと思う。(中部・中規模事業者)
- ◆ここに来て管理遊技機の話が急浮上してきているため、改装や新規出店の設備や遊技機の方向性が見いだせない。(九州・中規模事業者)
- ◆依存問題や射幸性に付与するには交換玉数を全国一律に3円以下などと決めて「遊びやすさ」を提供し続けることが客数減少を食い止める策と考える。全日遊連が増税時の対応も含めて、率先して交換率の変更を決めてほしい。警察側も出玉抑制するより高交換率を抑制するほうが依存問題には適していると考えべきだ。(関東・中規模事業者)
- ◆業務の効率化と経費の見直しを日々進めていくことが必要だと考える。(東北・大規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-76.5	-28.6	-30.0	-52.4	-11.5	-25.9	-50.0	4.3	-20.8	-44.7	-2.9	-13.5
稼働状況(パチンコ)	-70.6	-42.9	-42.9	-57.1	-33.3	-29.6	-45.5	-16.7	-20.8	-47.1	-13.3	-21.0
稼働状況(パチスロ)	-35.3	-33.3	-38.1	-33.3	-7.1	-10.7	-27.3	-4.2	-12.5	-25.9	-0.9	-12.3
資本投資気運(遊技機)	0.0	-14.3	0.0	-14.3	-21.4	-28.6	4.5	0.0	16.7	-3.3	-12.2	-5.4
資本投資気運(その他設備)	-29.4	-14.3	-14.3	-9.5	-3.6	-7.1	-9.1	4.2	8.3	-15.0	-4.1	-4.1
不足感(営業用設備)	-5.9	-33.3	-28.6	-23.8	0.0	-3.6	-9.1	-4.2	-4.2	-10.6	-9.4	-9.4
不足感(雇用人員)	-41.2	-71.4	-76.2	-61.9	-71.4	-71.4	-50.0	-66.7	-62.5	-37.6	-61.3	-58.5

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-53.8	-26.7	-46.7	-61.9	-8.3	-16.0	-25.0	14.3	0.0
稼働状況(パチンコ)	-53.8	-40.0	-46.7	-61.9	-15.4	-15.4	-25.0	0.0	-14.3
稼働状況(パチスロ)	-46.2	-20.0	-40.0	-33.3	-14.8	-18.5	-6.3	14.3	0.0
不足感(営業用設備)	-15.4	-20.0	-20.0	-4.8	-14.8	-11.1	-12.5	0.0	-4.8
不足感(雇用人員)	-15.4	-46.7	-40.0	-38.1	-63.0	-63.0	-50.0	-57.1	-52.4
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-37.5	-20.0	-30.0	-40.7	6.1	0.0	-44.7	-2.9	-13.5
稼働状況(パチンコ)	-62.5	-20.0	-40.0	-40.7	-6.1	-12.1	-47.1	-13.3	-21.0
稼働状況(パチスロ)	-25.0	0.0	-30.0	-22.2	9.1	3.0	-25.9	-0.9	-12.3
不足感(営業用設備)	-25.0	-30.0	-40.0	-7.4	0.0	3.0	-10.6	-9.4	-9.4
不足感(雇用人員)	-50.0	-80.0	-80.0	-37.0	-63.6	-60.6	-37.6	-61.3	-58.5

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-12.5	-23.5	-23.8	-19.0	-19.0	-17.9	0.0	9.1	12.5	-10.9	-10.2	-10.8
貸出態度	0.0	0.0	-19.0	0.0	-19.0	-17.9	-5.9	4.5	8.3	-2.2	-5.1	-9.5
借入金利	0.0	0.0	-4.8	0.0	-4.8	-7.1	5.9	-9.1	-8.3	2.2	-5.0	-6.8

* 全般的業況 n=105、稼働状況(パチンコ)n=105、稼働状況(パチスロ)n=106、資本投資気運(遊技機)n=73、資本投資気運(その他設備)n=73、不足感(営業用設備)n=106、不足感(雇用人員)n=106、資金繰りn=73、貸出態度 n=73、借入金利 n=73

* 小規模事業者=3店舗以下、中規模事業者=4~10店舗、大規模事業者=11店舗以上



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 Web:www.eb-i.jp



パチンコ業界のマーケティング
株式会社シーズ

〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F
Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 Web:www.sees.co.jp/

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。